

http://www.minamih.net/ 14·4·5 (土) 南NEWS NO92 今日の2つのレポートは、2つとも南OBのお父さんがコーチになって試合を指導し、書いてくれたものです。

3年生のレポートは南9期生の尾川コーチ,1年生のレポートは南13期生の中西コーチのレポートです。 どちらも子ども達への優しいまなざしが感じられるレポートです。とっても嬉しいです。

amih.net/南の卒業生がお子さんを南に入れてくれることが増5 (土)えています。新2年生の内田君のお父さんも南15期NO92生のOBです。私は安心して引退できます。

by南のアンパンマン

3年生 第32回府中招待新4年生サッカー大会

3月8日・9日 府中少年サッカー場

予選リーグ(3月8日)

 ○めあて ・逃げるパスをしない ・パスを出したら走る ・コーチングをする 対府中北 3-1 (前半3-0) 得点者:前川君 山本君 加々美君 対府中GF 2-1 (前半2-1) 得点者:加々美君×2
決勝トーナメント(3月9日)

○めあて ・戻りを早くする ・取られたら取り返す

・相手の位置やマークの確認などコーチングをする1回戦 対大和北 2-0 (前半1-0) 得点者:加々美君×2

準決勝 対富士見が丘 0-1 (前半0-1) 3位決定戦 対府中4BK 0-5 (前半0-1)

予選リーグでは、ドリブルしている味方の後ろに一人がフォローでつき、すぐにボールを奪い返すことでチャンスが広がり、得点に結びつけることができていました。また、MFの三人がよく動き、中盤から相手へプレッシャーを与えることで、攻撃のリズムを作らせずに試合運びができていました。カウンター攻撃を受けた際も、キーパー(平井君)の絶妙な飛び出しやDF陣がゴール前にしっかりと戻ることで失点を最小限とどめることができました。ただ、相手のドリブルを簡単に足だけで止めようとしている場面もあり、危ない時もありました。

決勝トーナメント1回戦では、相手DFがボールを持ったところを、野崎君と八木君の2人でプレスをかけたことによりできたこぼれ玉を加々美君が右スペースにドリブルで持ち込み、角度のないところから逆サイドのゴールポストに当たるシュートで得点しました。後半開始直後には、加々美君がドリブルで持込み右サイドからのシュートしたボールをキーパーが弾いたところに八木君が詰めていましたが、キーパーにセーフされ惜しくも得点できませんでした。コーナーキックをゴール前で井上君が受けフェイントでかわそうとしましたがDFに阻まれ、混戦からこぼれたボールに反応した加々美君が相手を交わしてシュートして得点しました。

準決勝では、ボールを持った相手に対し早いプレスをかけることで攻撃のスピードを遅らせ、2人でボールを奪っていましたが、自陣ゴール前で奪われてしまった際に、周りの寄りが遅くなってしまい、シュートする時間を与えてしまい、失点してしまいました。その1点が決勝点となり、残念ながら負けてしまいました。

3位決定戦では、運動量が落ちてしまったため、攻撃時のDFの押し上げや守備時の戻りが遅くなってしまい、相手に自由にサッカーをする時間を与えてしまい、残念ながら負けてしまいました。



1年生 練習試合 対太和田 3月30日 由井三小 〇めあて みんなでせめて、みんなでまもる ドリブル、ターンをたくさんつかう とられたらとりかえす

10分ハーフで2試合やりました。

1試合目は0-4で負け。防戦一方でしたが、1回だけ石橋くんのフィードから攻め上がる場面がありました。皆でボールにトライしていましたが、相手の個人技とパスワークについて行けませんでした。

2試合目は0-0。雨の中でしたが積極的にボールにトライして、相手陣内での攻防が見られました。1試合目の反省点を各自に言わせることにより、試合中に自分が何をしなければならないかを意識させました。コーチに言われたからやるのではなく、自分で感じて行動出来る選手になってほしいです。得点は出来なかったが、1試合目に比べると、攻守に積極性が見られました。

